フトスジツバメエダシャクの暗化型

田中教一

堺市百舌鳥梅町4丁 大阪府立大学農学部昆虫学教室

An aberrant form of *Ourapteryx persica* Ménétriès (Lepidoptera: Geometridae: Ennominae)

KYOICHI TANAKA

筆者は1973年夏，奈良県の荒神ケ岳での夜間採集において，フトスジツバメエダシャク *Ourapteryx persica* Ménétriès の暗化型の雌を採集したので報告する．

日頃御指導いただく大阪府立大学の伊藤修四郎教授はじめ諸先生，日本では *Ourapteryx* 属の暗化型は未記録であるということを御教示いただいた大妻女子大学の井上寛教授に心からの感謝の意を表する．

Ourapteryx persica Ménétriès, ab. フトスジツバメエダシャク暗化型 (Fig. 1)

所検標本：1♀，奈良県吉野郡野迫川村荒神ケ岳 (1260 m), 1973年7月22日 (田中教一).

記載：開張 52 mm. 顔面は橙黄色．前翅は灰色；内横線および外横線は灰褐色で，わずかに黄色を帯び，内横線の内側と外横線の外側に白帯を有する．翅基部および外縁線は白色．また，内横線と外横線に狭まれる後縁部も白色である．亜外縁線部は灰色で，褐色鱗粉を散布する．縁毛は淡い灰黄色であるが，後縁部では白色を呈する．後翅は白色であるが，外横線は灰褐色．亜外縁線部は灰色で，黒褐色鱗粉を散布している．翅脈 Cu_{1a}, Cu_{1b} と 1A の脈上は灰褐色である．後翅縁毛は橙黄色と淡い灰色からなるが，前縁および後縁では白色である．裏面では前翅の翅頂から前縁基部にかけて黒褐色鱗粉を散布するが，前翅の他の部分および後翅は白色である．脚は前腿節の先端部½および前脛節の内側は灰褐色，中・後脛節の外側は灰褐色を呈するが，他の部分は白色である．

本異常型は，正常個体の前後翅に散在する灰色の小細短横線が広がって灰色を呈し，全体として暗化している．本異常型の胸・腹部は正常個体と同様に白色である．なお前翅脈相については，右翅は正常であるが，左翅脈相は，Sc の基部から約⅔に細い追加翅脈 (Sc′) を分枝する (fig. 2). 交尾器においては，正常な本種の雌個体との間には差異は認められなかった．
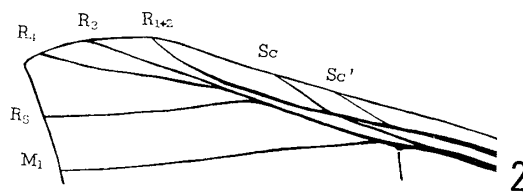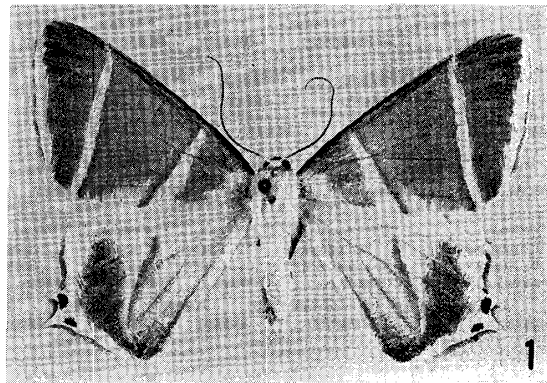
Fig. 1. *Ourapteryx persica* Ménétriès, ♀, aberrant form, taken at Mt. Kozingadake, Nara Prefecture, Honsyu.
Fig. 2. *Ourapteryx persica* Ménétriès, ab., part of forewing venation, showing Sc with an additional vein (Sc').

Summary

An aberrant specimen of *Ourapteryx persica* Ménétriès was collected at Mt. Kôzingadake, Nara Prefecture, Honsyû, Japan, on July 22nd 1973 by the author. The wings of the normal specimen are white in general appearance. However, this aberrant specimen differs from the normal one as follows: forewing grey, with the inner line preceded by a distinct white band, with the outer line followed by a similar band, and with a distinct white marginal line; hindwing with a grey submarginal area, slightly mixed with blackish-fuscous scales.